



令和7年度入試結果速報(豊山版)

国公立大学の志願者倍率は前期2.7倍、後期9.2倍
昨年志願者大幅減の日本大学は逆に志願者大幅
増となつた

今年度の入試は、新カリキュラム元年であることから安全志向の学年と言わっていましたが、共通テストでは多くの教科で平均点が昨年を上回ったことで、逆に強気な出願が予想されました。一方で国公立大学の倍率は2.7倍でした。それでも18歳人口減を考慮するとまだ高倍率と言えます。共通テスト利用の私立大学の志願者数も増加しました。このように、今年度の志願状況は予想できなかった展開となっています。

MARCHの中では青山学院大学を除く4大学が前年比107%を超え、日東駒専の中でも日本大学は昨年最も受験生を減らしましたが、今年度は130%を超える大幅増となりました。

そのような状況の中、本校の受験生は日大、そして他の私立大学への合格を勝ち取っています。今年度の傾向としては、総合型選抜や公募推薦などの年内入試で合格を決めた生徒が増えたことです。この傾向は今後も続くと予想されます。

以下に2月19日時点での進路状況の概要と、合格者数をまとめました。

2025年2月19日現在の日大進学者・他大合格者状況

日本大学	推薦等	一般	他大学	推薦等	一般
法学部	一部	57	東京外國語大学	1	
	二部	6	防衛大学校	2	
文理学部		35	早稲田大学	1	
経済学部		65	上智大学	6	
商学部		37	東京理科大学	13	
芸術学部		5	明治大学	3	
国際関係学部			立教大学	1	
危機管理学部		12	中央大学	1	
スポーツ科学部		2	法政大学	4	
理工学部		77	学習院大学	1	
生産工学部		20	関西大学	1	
工学部		1	明治学院大学	2	
医学部			駒澤大学	2	
歯学部		1	専修大学	1	
松戸歯学部		2	芝浦工業大学	2	
生物資源科学部		26	東京工科大学	2	
薬学部		2	東京電機大学	2	
短期大学部	三島		東京都市大学	1	
短期大学部	船橋	1	その他の大学	29	1
小計		349 0	小計	75	1
進学者数		349	合格者数		76

【日本大学】

現在349名(高3の73.6%)の生徒が進学を決めています。これは昨年度の卒業生の割合よりも高めです。文系学部では法学部と経済学部に進学を決めた生徒が多く、次に文理学部と商学部が続きます。理系学部では、例年通り理工学部に77名も進学が決まりました。そのうち最も人気があり、難いとされる建築学科に15名も進学が決まっている状況です。

【他大学】

他大学の合格者は、早慶上理以上の大学で23名となっており、例年のこの時期と比較すると多めに出ています。の中でも今年度は、総合的な探究の時間で培った成果を活かして、総合型選抜において合格を勝ち取った生徒が多いのが特徴です。GMARCHクラスについては、これから続々と一般選抜の合否結果が出来ます。そして国公立大学の合否結果は3月上旬以降に発表されますので、4月(次号)のCompassに掲載する予定です。



高1社会人セミナー

3月21日(金)高1対象に、社会人の方々による16歳から現在に至るまでのキャリアに関する講演を聴き、生徒自身が今後の生き方やキャリアについて考えることを目的として「社会人セミナー」を実施します。本セミナーを務めていた講師は13名で、様々な経験を経て各分野で活躍されている方々です。高校や大学時代での経験をもとに、「今何をすべきか」や「働くことはどういうことか」等をお話していただきます。当日のスケジュールは、次の通りです。

当日のスケジュール

- 8:20 通常登校
8:35～8:50 社会人セミナーについての事前HR
9:10～10:00 1時間目
10:15～11:05 2時間目
11:10～ HR振り返りアンケートへの回答 ※iPad必須



スケジュールにもある通り、1人2講座を受講します。受講講座については13のテーマの中から希望調査を行い、現在割り振っているところです。当日までには担任から個票が配布されるので、そちらにしたがって教室移動をするようにしてください。なお、個票にはメモ欄を用意しておきますので、しっかりと聴いて、大事だと思ったことは書き留めておくようにしましょう。

講演のテーマは、次の通りです。なお、緑色は文系・青色は理系・赤色は理系大学から文系の仕事に就かれた方を意味しています。

	テーマ
1	いろいろな仕事の選び方、 自分のやりたいしごとを見つける。
2	情熱に従って生きよう ～世界が拡がるわくわく感～
3	アスリートを支える ～スポットライトの裏側にある仕事～
4	アイディアとクリエイティブの世界へようこそ！ どんどん進化していく広告会社の仕事って？ コミュニケーションを仕事にするってどういうことだろう？
5	好きこそもの上手なれ
6	地域での医療をサポートする「薬剤師」という仕事
7	好きな仕事をして、楽しく生きてみたら 「広報・宣伝」の仕事をしました！
8	独立した弁護士が感じる、 仕事の自由さ・面白さと責任
9	いろいろな出来事の繋がりで辿り着いた、 システムエンジニアという今のしごと
10	【空間デザインとは。人によろこんでいただくということ。】
11	【想いをかたちにするために】
12	もし自分が16歳の高校生だったら こんな話が聞きたかった…。
13	多種多様すぎる！？地域密着型のお仕事

社会人の話を直接聞く機会は、普段ではなかなかありません。この社会人の生の声を聞くという貴重な機会を有意義なものにするためにも、「社会人になった自分なんて遠い未来だから、まだ考えなくても何とかなるかな」なんて中途半端な気持ちで聴くのはやめてください。たしかに、高校から将来を見据えていた方もいれば、そうでない方もいます。大学で学んだことを職場で活かせる会社に就職している方もいれば、そうでない方もいます。でも、社会に出て様々な経験をしてきた人たちだからこそ、高校時代に何をしておけばいいのかを伝えてくれます。そのため、この講演を真剣に聴いて、一人ひとりが将来を見据えて今何をすべきなのか?と考えることが重要です。この「社会人セミナー」を自身のキャリアを考える良いきっかけにしてほしいと思います。



一般合格者の声

2月の一般選抜を終え、受験生から合格の報告が少しづつ増えています。今年も一般受験を終えた高3に3つの質問に答えてもらいました。自分なりに参考にできそうなものがあればぜひ取り入れてみてください。

①どうやって合格したのか。何がうまくいったのか。

★最終的に誰でも取れる問題をどれだけ落とさないかが結果を分けるので、漢字を間違えないようにした。学校の授業や定期テストでは、普段勉強してきた成果の指標として活用した。

★確実にとれるところをとり、難しい問題は後回しにした。そして、難しいからと放棄せず、最後まで考え抜いた。また、緊張しないように自分に「ここまでこれだけやってきたから大丈夫！」と半ば強制的に暗示し、自信をつようにした。

★戦略がうまくいった。自分に合った受験校・スタイルで受けたのが良かった。

★高3の9月まで部活をしていたので時間が少なかったが、部活後に1時間でも勉強しようと心がけた。高2のときに先に日本史を定着させたのが良かった。

★学校や塾の先生方のアドバイスや勉強のコツを聞きながら地道に努力した。

総合的な探究の時間と進路 後編

大学入学者選抜では、各選抜方法によって求められる学力が異なります。例えば、一般選抜では「知識・技能」に重点が置かれるのに対し、総合型選抜では「主体性・多様性・協働性」が求められます。探究での活動が活用できる選抜方式についてみていきましょう。

1) 総合型選抜や公募推薦

これらの選抜では、自己PRや自己推薦書が求められることがあります。自己PRや自己推薦書などには、右に示した内容を含めて書くことが多いです。

探究との兼ね合いがわかりやすいのは「社会課題への問題意識」ですね。「ベトナムの農業」について探究で触れた生徒は、ベトナムでは現状で何が問題になっているかわかるはずですし、日本の農業の問題点に思い至った人も少なくないと思います。探究で社会課題を知り、それについて具体的な知識を身に着けることで、この部分に厚みをもたせることができます。

「具体的な活動歴・行動歴」では、探究でその課題に向き合ったことがそのまま活かせる場合があります。例えば専門家にインタビューを行ったこと、学年でその問題についてアンケートを取った結果は、そのまま活かすことができます。

もちろん、「探究をやっていれば総合型や公募で受かる」ということではありません。総合型選抜や公募推薦では、その大学が求めている「学問に対する熱量」があることが大前提です。そのうえで、自分の将来学びたい分野に関して探究の時間に真摯に向き合って、アピールできる材料が増えるのです。今年度の高3で総合型選抜や公募推薦で合格をもらった生徒は、自分の興味・関心について探究を通して向き合ったことや、自分の将来像が明確化したこと、自己推薦書や面接でアピールできることが増え、それらが結果につながりました。

2) その他推薦について

付属推薦や指定校推薦で必要となることが多いのが志望理由書です。図に示したように、ここでも「社会課題への問題意識」は必要です。社会課題への問題意識については、上述した通りです。

今年度の高3では、探究を通じて触れた分野に興味をもち、進学先を決めた方もいます。探究でさまざまな社会課題を知り、自分の本当に興味のあることや、より深く勉強したいことを知るきっかけとなれば、志望理由書の「志望動機」で学びに向かう「主体性」を示すことができます。

このように、探究に真摯に取り組むことが自分の将来につながる可能性が大いにありますので、来年度以降の探究にはこれまで以上に主体的に取り組みましょう。

② 試験当日や本番で気をつけたこと、意識したこと

★時間配分はどうするか、何を最初から解いていくか、過去問から戦略を決め、本番もその通り解くことを意識した。

★「○割とれば合格」や「得意科目で稼ごう」など、合格に直結するようなことは考えず、「とれるところを着実にとっていく」ということを意識して考えるようにして解いていった。

★プレッシャーを自分に与えないことが大事。いつも通りの気分で受けたのが一番うまくいくける。 ★終わった教科は振り返らない。

★トイレの場所を把握する。 ★慌てないで深呼吸して問題を解く。

★「絶対合格できる」という強気な姿勢で本番に向かうと全力を出し切るやすくなる。

★試験時間ギリギリではなく最後の5分を余させて、ミスがないか確認するなど、時間配分を意識した。1時間前くらいには試験会場に着いて、気持ちを落ち着かせた。



③ 後輩に伝えておきたいこと

★まずは、周囲の協力あってこの受験なので、頑張っている姿勢を周囲に示し、認めてもらうことが必要。そのために自分から積極的に行動することが大切。高1・2年のうちは、余裕があるなら滑り止めの大学まで調べておくことをオススメします。

★試験までの日も、試験当日も、結果発表日も何が起こるかわからないから、当日に自信をもてるようにそのときそのときを有意義に過ごして、大学受験を乗り越えてください。

★今からでも軽い復習をしたら、本番の受験で役立つと思います。

★受験は情報戦の要素が強くなっているので、きちんと調べて戦略を組みながら受けるのが大事。

★不安なのはみんな同じだし、緊張もして当然。それだけ努力してきたんだと思って試験を楽しんでほしい(緊張でパフォーマンスが向上するらしい)。受験で人生が決まるわけじゃないから、それを考えれば気が楽になるかも。最後まで自分を貫いて諦めず頑張ってほしい。

★豊山は日大の付属なのでどうしても内部から進学するのが一般的だが、一般選抜でしか得られない経験もあるので、ぜひ一般選抜も視野に入れて頑張ってほしい。

3月の進路行事

3月18日(火) 卒業生講演会 (中高特進クラス)

3月21日(金) 社会人セミナー (高1)



月
日
一
二
三
四
五
六
日
直

現在高1(新高2)と高2(新高3)向けに、基礎学力到達度テストの過去問販売を売店にて行っています。さらに新しい日大の取り組みとして、基礎学力到達度テストの過去問3年分をオンライン上で解答でき、かつ自動採点ができるe-Learningシステム「Canvas LMC」が始まりました。日本大学のNUメールを使用できる皆さんはいつでも利用でき、とても重宝するはずです。

一方で売店で販売されている過去問は、高1(新高2)は5年分の問題と解説付き、高2(新高3)は4年分の問題と解説付きとなっています。紙の問題となっているので、実際の受験時と同様の雰囲気で解くことができます。オンライン上で利用できるCanvas LMSと異なり、売店で販売中の過去問は在庫に限りがありますので早めの購入をお勧めします。



今年度もご愛読いただきありがとうございました

今年度も無事に全ての発行を終えることができました。進路情報新聞Compassは、生徒の皆さんの進路の羅針盤となり、それぞれが希望する進学先に進めるように今後も役立つ情報をお届けしていきます。来年度もよろしくお願いいたします。

次回4月号は、4月上旬発行予定です

